

京都市東山区～大津市追分町

歩行距離 約7.2km
標準歩行時間 約1時間30分



アクセス情報

淀屋橋駅	京阪本線特急 約50分	三条駅
追分駅	京阪京津線・京都市営地下鉄東西線 約15分	三条京阪駅
三条京阪駅	徒歩 約1分	三条駅
	京阪本線特急 約50分	淀屋橋駅

(2024年3月現在の昼間時の列車運行時刻をもとに記載)

高山彦九郎像

諸国を歴遊し勤王を説いた高山彦九郎が京都に訪れた際、三条大橋から御所を伏見まで、皇室の衰微を嘆いたという逸話があります。その逸話にもとづき、昭和3年(1928)に銅像が建設されましたが、第二次大戦中に金属供出のため撤去されました。現在の銅像は昭和36年(1961)に再建されたものです。

●京阪電車 三条駅下車すぐ



平安神宮

平安遷都1100年を記念し明治28年(1895)に第50代桓武天皇をご祭神として創建。シンボルとなっている大鳥居は昭和天皇御大礼の記念事業として建設され、国の文化財にも指定されています。毎年10月に行われる時代祭は平安神宮の大祭であり、伝統工芸技術の粋を動く歴史風俗絵巻として内外に披露するものです。

●京阪電車 三条駅から北東または神宮丸太町駅から東へ徒歩約15分



天智天皇山科陵

飛鳥時代に中臣鎌足とともに大化改新を成し遂げた人物として知られる天智天皇(中大兄皇子)を祀る古墳。京都の天皇陵の中でも最古のものとされる由緒ある存在です。入口の左手にある大きな日時計は、天智天皇が日本で最初の水時計(漏刻)を作ったと伝わることから昭和13年(1938)に作られました。

●京都市営地下鉄東西線・京阪電車 御陵駅から南東へ徒歩約6分



琵琶湖疏水記念館

平成元年(1989)、琵琶湖から京都へと水を運ぶ「琵琶湖疏水」にまつわる色々な疑問を解決できる博物館として開館しました。琵琶湖疏水は明治期の竣工以来、今なお“現役”で活躍している人工の運河で、記念館周辺には南禅寺水路閣や蹴上インクライン、蹴上発電所など関連する見どころも数多くあります。

●京都市営地下鉄東西線 蹴上駅から北へ徒歩約7分



提供：京都市上下水道局

東海道五十三次の終点、京都三条大橋から山間の道をたどって山科盆地へ入り、大津市追分の東海道五十七次との分岐点を目指します。山越えの入口となる蹴上付近には、明治時代に整備され京都の近代化を支えた琵琶湖疏水の関連施設が点在します。三条通にはかつて京阪京津線が走っていました。

京都三条大橋へ至る東海道五十三次と伏見街道・大和大路

番外編では京都三条大橋を経由するルートをご紹介します。

墨染から追分までは、東海道五十七次だけではなく、伏見街道・大和大路と三条大橋を終点とする東海道五十三次を通ることもできます。

墨染から五条まで鴨川に沿って進む伏見街道、さらに三条に至る大和大路は社寺等の見どころの多いルートです。

また、三条から追分までの東海道五十三次では、山間を通る古の街道の雰囲気を楽しむことができ、東海道五十七次とはまた違う魅力が楽しめます。

ぜひ、どちらのルートも踏破してみたいかがでしょうか。

